

	質問内容	ご回答
操作関係	1 利用できるファイルの種類を教えてください	MS Word, Word XML, WordPerfect, PostScript, PDF, HTML, Excel, WordPerfectWPD, OpenOffice ODT, RTF, Hangul HWP, および プレーンテキストなどです。PDFで、スキャナで取り込んで作成された画像や、パスワードがかかっているものは、テキスト情報が取れないので、エラーになります。
	2 TeXで記述したファイルの論文もチェック可能ですか	TeXファイルをそのままアップロードすることはできません。PDFファイルに変換してアップロードする必要があります。PDFファイルに変換後、テキスト情報が取れるものであればチェック可能です。
	3 アップロードできるファイルサイズの上限はありますか	ファイルサイズが100MB以下、800ページ以内、およびRaw Text (画像やその他諸々を一切取り払ったテキストのみの部分) が2MB以内ですとアップロードが受理されます。
	4 1文書としてカウントする定義を教えてください	アップロードされた1ファイルに含まれる文字数によって英文書数が決定されます。 例: 1ファイル内の文字数が25,000以下ですと1文書、25,000以上50,000以下ですと2文書というようにカウントされます。
	5 ZIPファイルでアップロードした場合、1ZIPファイルあたり1文書とカウントされますか	Zipファイル内の各文書のチェックについて1回とカウントされます。Zipファイル内に、仮に35の文書が入っていて、全部のチェックが成功したら、35回としてカウントされます。
	6 どのタイミングでチェックした文書がカウントされますか	アップロードして、チェックが完了し、%が出た段階でカウントされます。エラーになった場合はカウントされません。
	7 各アカウントでチェックした総文書数はどのように確認できますか	ファイルをアップロードする機能の下にある「Recent Uploads」にて直近で各ユーザがiThenticateに文書をアップロードした件数は確認することができます。但し、確認できる内容はあくまでアップロードした件数で「アップロードしてエラー表示がでた文書」「アップロードした文書が25,000wordsを超えて2カウントとみなされている文書」などもアップロードしたとして1件と表示されます。
	8 複数の言語が一つのドキュメントに入っている場合、チェックは可能でしょうか	複数言語の場合、チェック結果が適切に出ない可能性があります。なるべく一つの言語にまとめていただくことをお勧めします。
	9 日本語の場合のワードの数え方について教えてください	日本語の論文では、システムで計算されるワード数と、日本語の語数は異なります。概算で2語で1ワード程度になっているようです。本ツールは主に英文に対応しているため、""で明確に引用記号が付いているものは除外されます。ただし日本語の場合、「」 「」 () など様々な引用記号を使うため、除外から漏れるものがあります。「参考文献の除外」については、日本語であっても、Referenceと表題がついていれば、除外できます。
	10 検索フィルターの「引用を除外する」はどのくらい機能しますか	※ 機械的に処理を行いますので、全て自動で除外されることはなく確認が必要となります。 一度アップロードした論文は、何度もチェック結果を確認することができます。フィルターで条件変更して類似度を再計算した場合、チェック回数は消費しません。
	11 一度アップロードした論文のチェック条件の絞り込みはいつでもできますか	機関内でアカウントが付与されたユーザの間でのみ共有できます。
	12 チェック結果をシェアする機能で、他機関の共同研究者ともファイル共有できますか	画面下部にある「印刷」ボタンを押すとPDFで出力され、印刷が可能です。
	13 チェック終了後の結果を印刷 (PDF化) することは可能でしょうか	画面下部にある「印刷」ボタンを押すとPDFで出力され、印刷が可能です。
	14 アップロードして送信されるデータは暗号化されていますか	サーバーとの通信は暗号化されています。
	15 アップロードした論文は、他のアカウントからは見ることができないのでしょうか? また、ファイルをゴミ箱に捨てた場合は完全に削除されているのでしょうか	アップロードした論文は、シェアされていない限り、他のアカウントからは見ることはできません。ファイルをゴミ箱に捨てた後、さらに「Trash」からDeleteした論文は完全に削除されます。
	16 各ユーザの画面右上に表示される「HELP」ボタンはどこに繋がるのでしょうか	この「HELP」は、各ユーザが利用できるのですが、問い合わせはTurnitin社に届きます。よって文面は英語で記載することが必須となります。この問い合わせの内容と回答は、ユーザとTurnitin社以外の方には届きません。学内のご質問等に関しては、この「HELP」をご利用せず学内の管理者にお問い合わせいただくのが適当となります。
	17 半角カタカナもチェックの対象となりますか	半角カタカナも、チェックの対象となります。
	18 フィルター機能にある、「Exclude Small Matches」と「Exclude Small Sources」の違いは何ですか	「Exclude Small Matches」は、マッチしたソースの内訳のワード数を対象とするもので「Exclude Small Sources」は、マッチしたソース自体を対象とするものとなります。 例えば、200文字の文書中、2つのソースからのマッチが合わせて5箇所あるとします。5つのマッチの内訳はソースAから2語、3語、10語、ソースBから2語、2語とした場合、Exclude Small Matchesにて5語以下と設定した場合、ソースAの10語以外のマッチ及びソースBが該当し一致の対象から外れます。反対にExclude Small Sourceにて5語以下と設定した場合には、ソースBのマッチ2つが5語以下となり一致の対象から外れます。
	19 縦書きの文書もチェックを行うことができますか	縦書きの文書は、チェックの対象となりません。
	20 リビジョン機能は、どこで利用するのでしょうか	リビジョン機能を導入していると、文書をチェック終了後の結果を表示した時に「青い矢印」マークが表示されます。この「青い矢印」マークをクリックして再度文書をアップロード (チェックした文書と60%以上同じ内容) すると5回まで再チェックが可能です。このチェックでは全体のチェック回数強は消費されません。
	21 ファイルサイズの大きい文書はどのようにチェックすればよろしいでしょうか	画像データ等でファイルサイズ上限を超えてしまう場合は、テキスト部分だけをコピーし別ファイルに貼付け、そのファイルでチェックするのが最適な方法です。
	22 文字コードが異なる場合とチェック結果がでないことはありますか	対応文字コードについては、Turnitin社からの回答はありませんが日本語環境については、シフト JIS、UTF8、EUC等の文書ではチェックできております。文字化け等の問題が出る場合は上記いずれかのコードに変換の上お試しください。
データベース	1 3つの比較データベースCrossCheck、Internet、Publicationsのうち、CrossCheckに参加しコンテンツをデータベースに提供している出版社等およびその雑誌のリストは参照できますか	以下URLの「Search for Journals in our Database」の「Search」で検索することにより、雑誌タイトルや出版社、記事数が参照できます。 http://www.ithenticate.com/content ※iThenticateのデータベースに含まれていても、一部結果が参照できない場合があります。
	2 3つの比較データベースCrossCheck、Internet、Publicationsのうち、Publicationsにコンテンツを提供している出版社等のリストは参照できますか	以下URLの「Content Partners:」の項目に代表的な出版社等は掲載されています。 http://www.ithenticate.com/content
	3 iThenticateのデータベースにコンテンツを提供している日本の学会及び雑誌の数を教えてください	2014年6月現在で、国内の約48学会、140誌がコンテンツをデータベースに提供しています。 ※CrossRef経由で取り込まれていますが、現在の学会及び雑誌の数は不明です。
	4 PubMedの論文もチェックの比較対象になりますか	PubMedのサイト自体に表示される、アブストラクト、サイテーション、メタカルリソース等はクロウリング対象です。紹介されている論文のフルテキストは各出版社の登録状況に寄ります。
	5 データベースのデータ更新のタイミングはいつでしょうか	提供元の各出版社によってまちまちです。最新のジャーナルが出版されたら、即データベースに入るといったことはありません。Internetについては、毎日クロウリングが行われ、随時更新されています。
	6 出版社が出版してから論文のデータは、どのくらいの時間でiThenticateのデータベースに登録されるのでしょうか	CrossRefメンバーの出版社からのコンテンツにしましては、出版社によってタイミングはまちまちです。各出版社よりCrossRefへ、メタデータが送信され、CrossRefよりiParadigms社に連絡が入った時点でクローラーによってデータをクローラー、インデックス化するという流れになっております。CrossRefへ情報が提供される頻度は各出版社ごとに異なり一概にどのような周期でクローリングされているとは言えません。出版社によっては毎週、または半年といったような幅広いスパンになっておりますので、詳細は各出版社への確認が必要となります。
使用環境	1 ユーザインタフェースは、どんな言語をサポートしていますか	英語、日本語、韓国語、ドイツ語、スペイン語、中南米、ブラジルのポルトガル語、オランダ語、イタリア語、フランス語、簡体字および繁体字中国語、アラビア語をサポートしています。
	2 現在の利用できるシステム要件を教えてください	以下のiThenticateホームページに記載されております。 http://www.ithenticate.com/products/faqs ・ Microsoft® Windows® Windows® 7以上、Mac OS X Intel v10.7以上・ 3GB of RAM or more ・ 1024x768 display or higher ・ Broadband internet connection ・ We support the latest and one previous version of Chrome, Firefox, Safari, Microsoft Edge. ・ 以下のブラウザの最新バージョンと1つ前のバージョンをサポートしています。 ・ Chrome, Firefox, Safari, Microsoft Edge ・ Internet browser set to allow all cookies from ithenticate.com ・ Javascript enabled
	3 必要なセキュリティ設定を教えてください。	下記URLのコンテンツをブロックしないよう設定してください。 *turnitin.com *turnitinuk.com *turnitincdn.com ajax.googleapis.com Turnitin社からメールを受け取れるよう、下記ドメインのメールをブロックしないようご注意ください。 @ithenticate.com @turnitin.com @turnitinuk.com @iparadigms.com
その他	1 文書のアップロード後、チェック結果が出るまでに要する時間はどの位でしょうか	ご利用している環境により異なりますが、日本語・英語の論文共に 数頁の論文で数分、数百頁の論文ですと数十分かかる場合があります。